

# 冷水筒の使い方（注ぎ方・閉め方・取り外し方）

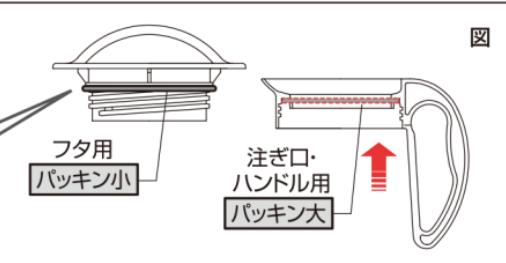


# 使用上の注意

- 火のそばに置かないでください。●電子レンジではご使用にならないでください。
- 本製品を乱暴に扱わないでください。破損の原因となります。また、キズや亀裂の入った製品のご使用は中止してください。
- 熱湯を入れた場合は常温に冷めるまでフタを開めないでください。常温に冷める前にフタをすると空気の膨張により本体が割れて、やけどにつながる危険があります。
- やけどのなどのケガの原因になるおそれがありますので、熱いうちに持ち運びしないでください。
- また、容器に熱いものを注ぐときは安定したところに置いて、倒れないように充分注意してください。
- 冷蔵庫内の棚に横置きする場合はフタをしっかりと閉めたことを確認してください。扉がしきりと閉まらないといと水漏れする場合があります。
- 冷凍庫に入れないでください。(液体が凍って膨張し、容器の破損の原因になります。)
- 熱湯を注いだのち、冷水等により容器を急激に冷却しますと、本体が白く壊れる場合があります。十分に熱をとめてから冷水及び冷蔵庫で冷やしてください。
- 熱い状態のまま冷蔵庫に入れますと、他の食品を傷める原因にもなります。
- 変形及び、ひび割れの原因となるおそれがありますので、食器洗い乾燥機ではご使用にならないでください。
- 持ち運びの際は、必ずハンドルまたは本体を持って移動してください。フタを持って持ち運ぶ構造にはなっていません。
- ハンドルを持って振り回すと、ハンドル部が破損するおそれがありますのでおさけください。
- 茶しぶや、カビの発生には、市販のキッチン用漂白剤をご使用ください。
- しっかりとフタが固定されていることを確認の上ご使用ください。フタの抜け落ちを防止する意味で、注ぎ位置を確認の上ご使用ください。
- パッキンは取りはずすことができ、熱湯消毒もできます。
- フタ、注ぎ口・ハンドルをお手入れする場合には、パッキンのはめ込み位置を必ず図の位置にしてください。はめ込み位置が違うと水漏れする場合があります。
- 製品を洗う場合、スポンジや柔らかい布に中性洗剤をつけてご使用ください。

## パッキンの取り付け位置

### 重要 パッキンの取り付け位置



図

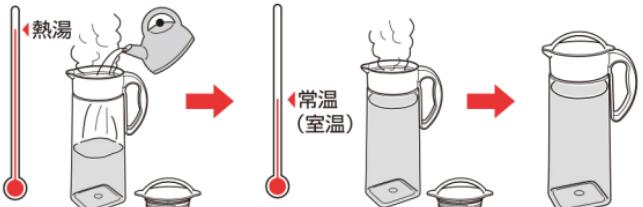
## フタの閉まり具合について

- ヨコにしてご使用になる場合は、フタを閉める際に、水もれが起こらないところまでしっかりとお閉めください。

- フタ及び注ぎ口・ハンドルをお手入れする場合や交換する場合には、パッキンのはめ込み位置を必ず図の位置にしてください。はめ込み位置が違うと水漏れする場合があります。
- お手入れ時にパッキンを紛失しないようご注意ください。

## 熱湯を直接 注ぐ場合

常温(室温)まで  
十分に冷まして  
からフタを閉めて  
ください。



	原料樹脂	耐熱温度	耐冷温度
フタ	ポリプロピレン	100度	-20度
注ぎ口・ハンドル	ポリプロピレン	100度	-20度
本体	A S 樹脂	100度	-30度
パッキン	シリコーンゴム	140度	-30度
■容量	2.1L		

■容量 2.1L